

総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 会 平成28年12月20日 午後3時00分
- 2 閉 会 平成28年12月20日 午後5時8分
- 3 場 所 総社市保健センター2階 資料展示室
- 4 出席又は欠席した委員
出席委員
委員長 林 直 人
委員長職務代理者 米 谷 正 造
委 員 小鍛治 一 圭
委 員 下 山 洋 子
委 員 三 宅 眞砂子
委 員 山 中 榮 輔
- 5 会議に出席した者
教育次長 服 部 浩 二
参事兼庶務課長 葛 原 隆 二
学校教育課長 北 川 和 美
こども夢づくり課長 西 村 佳 子
生涯学習課長 柚 木 均
文化課長 河 原 隆
学校教育課指導主幹 平 松 高 志
庶務課課長補佐 岩 佐 知 美
- 6 会議録署名委員
下 山 洋 子 三 宅 眞砂子
- 7 付議事件
議案第31号 総社市立学校教職員の褒章について 原案可決
議案第32号 総社市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について 原案可決
- 8 議事の概要 別紙のとおり

開会 午後3時00分

林委員長 ただいまから教育委員会を開会いたします。この教育委員会には、議案2件が付議されております。

では、まず、会議録の署名委員についてであります。会議録署名委員は、会議規則第19条の規定により、出席委員中、下山委員、三宅委員の2名にお願いします。

林委員長 では、議案第31号「総社市立学校教職員の褒章について」事務局から説明願います。

葛原庶務課長 【事務局説明】

林委員長 ただいま事務局から説明がありました議案第31号について質問はありませんか。

【質疑なし】

林委員長 お諮りいたします。

議案第31号について可決してよろしいか。

(異議なし)

林委員長 ご異議がないようですので、議案第31号については可決しました。

葛原庶務課長 【総社市職員褒章（勤続表彰）の該当職員について報告した。】

(※服部教育次長が該当)

林委員長 教育次長さん、何か一言。

服部教育次長 すみません、これも勤続表彰で、特に悪いことをしていなければ、表彰していただけるというものです。皆様方の本当にお力添えで何とか30年就かせていただきましたが、もうしばらく頑張らせていただきますので、よろしく願います。

林委員長 これからもよろしく願います。

林委員長 次に議案第32号「総社市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について」事務局から説明願います。

各課長 【事務局説明】

林委員長 ただいま事務局から説明がありました議案第32号について質問はありませんか。

【質疑・答弁】

小鍛治委員 41ページの質問なんですけれども、市民総合スポーツ祭、15種目、目標が参加者1,100人で、893人っていうのは、これは日程の問題でしょうか？人数が少ないのは。天候とかそういうことが影響されますか？

柚木生涯学習課長 ちょっとまた調べまして、後でご報告します。

米谷委員 同じところで、逆に、スポーツ教室が100名以上昨年度より増えていますよね？参加者が。何か広報とか、効果的な何かされたのかなと思って。教室に参加が増えるということは、市民が広くスポーツをしておられるということで、非常によろしいことかなと思うんですが。

柚木生涯学習課長 こちらにつきましては、種目特に変更しておりませんので、各団体の方が

働きかけをよくしていただいて、参加者が増えたんだと思います。種目が変わってれば、それに伴って、個人競技、団体競技いろいろあると思いますが、こちらにつきましては、今回変わっておりませんので。ちなみに今年は15種目をやったはずですが、今回につきましては、各種団体の方が頑張っておられた成果だと思います。

米谷委員 結構なことですね。はい、ありがとうございます。

林委員長 他にいかがでしょうか？

三宅委員 31ページ一番下に、障がい児支援の充実とあって、児童発達支援等のサービス利用児童全員、ってほしい何人ぐらいなんですか？

西村こども夢づくり課長 障がい児の通所の受給者が、28年2月の時点ですけれども、389名です。

三宅委員 結構時間と人手がいると思いますけど。389名は対象者の1割ぐらいなんですか？

服部教育次長 その年齢に占める割合とあってどれぐらい？

西村こども夢づくり課長 ちょっと今資料がございませんので。

三宅委員 ほしい対象になるのは3歳ぐらいからですか？1歳半ぐらいで対象になる子もいます？2歳ぐらいからですかね？

西村こども夢づくり課長 児童発達支援とか医療型とかいろいろあるんですが、医療型につきましては、0歳からです。児童発達支援で多いのは、3歳ぐらいからだんだん増え始めてという形です。3歳で、去年でしたら24人ぐらいで、4歳で55人、5歳で65人、6歳で86人という形です。

三宅委員 ほしい年間の出生人数が550前後ですよ？結構な人数ですね。

山中教育長 ほしい1割です。転入者がいるから、1割。

林委員長 他にどうでしょうか？

下山委員 学校教育について、「だれ行き」も今年は6年目、これを書いた時点で5年目なんですけど、いろいろ「だれ行き」とか、それから、小・中学校ブロックでの連携とかいろんな面で成果が出ているなど感じて読ませていただきました。それで、先ほど北川先生が言われた評価のところで、私も2番の特別支援教育と確かな学力の向上、Bとなっているところ、これは85%以上で、Aにしたいな、Aにしたいなと思って読ませていただきました。

それから、生涯学習の方で質問なんですけど、公民館の講座数とか内容なんですけど、講座数も公民館によって違いますけれど、その決め方についてちょっと教えてほしいなと思いました。それからもう一つ、これから後のことで、28年度、29年度で考えていただけたらと思うのが、若い人達やお母さん達の世代が、図書館に行きたいんだけど、お勤めをしていると6時までだったらなかなか行けない。返すことは、あのポストでできるんだけど、借りることができない。それで、わざわざ倉敷へ寄って帰るんよというようなことを聞いたたり、それから中年の方達も、6時までというのは早いねと言ったり、教員の方達も帰りに寄

ろうと思ったら6時までよっていうので、閉館の時間について、ちょっとまたこれから先検討することがあったら検討していただけたらなと思いつつこれを読みました。

それから、一丁埜古墳のことで、県の指定になったからでしょうか？総社新大橋を西に降りた所に看板が立ちました。「一丁埜古墳こっち」っていう交通標識というか、立ちました。それで、若い人達と車に乗っている時に、若い人達、30代ぐらいの子が、一丁埜古墳って何かな、どこにあるのかなって、総社市よってという話から始まったんですけど、そこら辺のアピール、PRみたいなものが、ちょっと若い年代というか、まだ知らない人達、小学生が知っているかどうか知らないんですけど、そういう20代、30代辺りまでも、広報で知ってほしいなという風にその時に感じました。以上です。感想程度ですけど。

柚木生涯学習課長 まず公民館の講座数なんですけど、これ特に制限はないです。各公民館でキャパはあるとは思いますが、主催講座につきましては館長の考えによるところが大きいと思います。それとあと、自主講座で使いたいということでしたら、地元の方がメインで使うので、部屋が空いていれば、ほとんどの場合は使えるのではないかと思います。実際、自主講座をしたいんだという時は、公民館の運営委員会で許可になったものをOKとしておりますので、各講座数については、特にいくつとか、そういうのは設けておりません。

また、図書館についてなんですが、たしかに6時というのは、6時よりは8時、8時よりは9時、そういった延長が必要という声が多くなれば考えていかないといけないんですが、そうになりましたら、職員とか、それから委託ですね。公民館なんかは職員が5時15分までなので、9時まで開いておりますので、その間どうしているかという、シルバーの方に頼んで留守番みたいな感じでずっと詰めていただいております。図書館もそれができるかどうかというのはちょっと疑問だと思うんですが、その辺は今後課題ではあると思われまふ。そういったご意見が多くなれば、考えていかないといけない事案ではあると思いつつ。

河原文化課長 看板の件ですが、確認してみます。

で、もう一つ、若い人にといつのもありますが、歴史保存会の皆さんがいろいろパンフレットを作っていたりとか、一丁埜の周りにも案内標識とかですね、いろいろ良くしていただいでいて、来た方がそれを見て歩けるようなことになっておりますが、一丁埜に限らず、若い皆さんは市内の文化財といいつのはなかなかご存知ない方も多いつのかなとは思いつつ。それから、出前講座なども比較のご年配の方が多いのかなとは思いつつので、引き続き若い方になんとかいいつつ文化財のことが届くように、いろいろ考えてやっていきたいと思いつつ。

看板については失礼しました。ちょっと調べてみます。

下山委員 今頃若い人も、古墳ガールとかいいつつ歴史に親しんでいる人達も多いような気がするので。

北川学校教育課長 28ページの②の特別支援教育の推進についてをAにといいつつので、ありがとうございます。これにつきましては、実のところ自・情から通常への措置変更を呼び

かける程度で、たまたま9名になっている程度でありまして、これ、じゃあどのようにしたら、インクルーシブの時代に向けて措置変更が進んでいくのか。やはり教育委員会として組織的な働きかけが薄かったという自戒の念も込めまして、Bということで。今後はここが確実にAになっていくように努力を重ねて参りたいと思います。ありがとうございました。

下山委員 北川先生にもう一つ尋ねてもいいですか？安全教育のところで、避難訓練の後、親への受け渡しがどうかという訓練をしたのは27年度中でしたかね？28年度中でしたかね？

北川学校教育課長 そうですね。今行っているところです。

下山委員 はい、分かりました。皆さんされていますかね？

北川学校教育課長 皆さんというところまではいかないかもしれませんが。

下山委員 何校かは？

北川学校教育課長 はい。

米谷委員 よろしいですか？19ページの学習活動を支援する人材の養成と活用のところで、総社市、本当に学校支援地域本部の設置率って県内でも非常に高く、内容も充実していると思います。それで、合わせて雪舟スクールサポーターとで、地域と学校、家庭の連携ということをやられていると思うんですけど、昨年度は一昨年度より100人ぐらい両方合わせて登録件数が増えているので、これまた喜ばしいことだと思うんですが、その割合が、26年度と27年度で登録の割合が、雪舟と支援本部の方って違うんですけど、これは何か登録の仕方を変えたんですか？

柚木生涯学習課長 こちらにつきましては、雪舟スクールサポーターが最初にあって、その後、学校支援本部事業ということで、同じようなものができたということで、しばらくの間、総社市は二本立てでやっていたんですが、分かり辛いので、雪舟スクールサポートという名前をなくそうとしている段階なんですけど、登録して下さっている方も、「自分は雪舟スクールサポーターなんだ」という高齢者の方が結構いらっしゃいまして。28年度からは、雪舟スクールサポーターという言葉は、幼稚園に支援に来ていただいている学生達を、雪舟スクールサポーターということで認識というか、お願いしております。学校支援本部事業で来ていただいている高齢者の方は、もう雪舟スクールサポーターじゃないんだよというのは、申込書とかにも書いてあるんですけど、ちょっとまだ認識はされていないようなので。さび分け的にはそういうことです。

米谷委員 分かりました。

で、もう一つなんですけど、27年度は小中合わせて18に1つ増えたんですけど、今年度はそれが19になるんですかね？全ての小中学校で。小15，中4。

柚木生涯学習課長 あとで、すみません。

三宅委員 すみません、不勉強で知らないんですが、ふるさと探訪学習の実施で、副読本の「写真と絵で見るわたしたちのふるさと総社」というのは、実物を見たことはないんですけ

ど、これは書店で売っているのでしょうか？

北川学校教育課長 申し訳ございません。これは各学校に何冊ずつという予算取りで、大量に印刷をしていなかったようです。申し訳ありません。余部でもあればいいんですけど、また、どうしましょうか。ちょっと持って参ります。

三宅委員 これだったら、もっと大々的にすれば、地域で若い人達にも活用できるのかなとちょっと思ったので。

北川学校教育課長 非売品でございます。簡単に概要を言いますと、昔作っていたよりも更に、写真や絵をふんだんに取り入れて、見やすく、ガイドマップ的な要素を強くしています。ですので、いろんな所から声をかけていただいているようなところはあります。

山中教育長 販売したらいいんじゃない？好評だから実費で販売したらいいと思うけどね。

三宅委員 販売して下さい。購入します。

林委員長 前は人物編とか、ふるさと創生の1億円もらえる、大昔使ってやったよね。あれの現代版という話？

下山委員 何年か計画でしましたよね？あれは売りましたよ？

林委員長 教員も同意して、あれは売ってますよ。

北川学校教育課長 大変なエネルギーと資産を投じて、ものすごいボリュームで5冊6冊ぐらいでしょうか。写真としっかりとした文字で。ただあれがですね、結構、図書館の上の方に備え付けのように置いてある状況があって、活用し辛い部分があるのかなという風に思います。

下山委員 子供向きじゃなくて大人向きのような。

北川学校教育課長 もちろんふるさとを学習する時には、教師がそれを噛み砕いて提供したりして活用しておるんですけども、今時のお子さんは、やっぱりパソコンで調べたりする活動がどうしても多くなりますので、分厚い本を開いてそこから情報収集をするという活動は減ってきているようであります。

林委員長 もったいないなという感じがね。

下山委員 子供向きよりは大人向きなので、貸し出しでも図書館でしていただいたらいいのかなと、今思いましたけれど。

柚木生涯学習課長 先ほどのスポーツ祭の人数が減っている関係なんですけど、日程もあつたらしいんですが、やっぱり部員数が減っているというのが主な原因みたいですよ。特に雨が降ったから参加人数が減ったとかそういうのではないと思います。ということは、たぶん目標設定ですね。これは、1000人になったんでしょですけど、やっぱり部活をやっている子が少なくなったというのがありますので、目標設定的なものを見直す必要があると思います。

それと、先ほどの学校支援本部事業の関係なんですけども、今年から2園、山田と昭和幼稚園を増やしております。

下山委員 今の雪舟スクールサポーターと学校支援地域本部のところで質問を続けてすれば

よかったですけど、登録者数っていうよりは、活動者数、活動数みたいなのは出ていないんですけど、それは各校とかで把握されていますかね？よく、登録したけど話が来んなあとかいうような人もおられるんですけども。

柚木生涯学習課長 たしかに、その質問を前にもいただいたような気がします。登録者数です、されている方は1000人以上いらっしゃるんですけど、誰が何回活動されたかというのは、把握しようと思えば把握できるんですが、ここに数字を載せていないのは、先ほど委員が仰られたように、登録しているけど話が来ないという、ニーズがなかったのではないかと思うんです。ですので、例えば、ちょっと分かりませんが、竹とんぼ作りできるよといって登録しているんですけど、学校に竹とんぼを作る授業的なことが必要としなかった場合にはその人を呼ばれませんので、そういう方も中にはいらっしゃるのではないかと思います。コーディネーターの方が、登録している方、何回出ていただいたかというのは数字的には持っていると思いますが、集計まではつけません。そういった方はいらっしゃるの、活動回数よりは登録人数の方を挙げさせていただいております。

【職員が副読本「写真と絵で見るわたしたちのふるさと総社」を持ってきた。】

林委員長 わざわざ持って来てくれたので、ちょっと拝見しましょう。折角ですから。

山中教育長 販売したら結構売れると思いますよ。

北川学校教育課長 写真の著作権の問題やら、そういう商標等でかなりの許可を取っていく必要があります。学術用に、学校で使う分に関してはそれは問題ないけれども、売るっていう段階になると、かなり、写真一枚一枚全て確認をとっていかないといけないので、そういうところで問題が生じます。

山中教育長 市民が欲しいんだから、それはちょっと努力して。折角こんないいものがあるんだから。

下山委員 「わたしたちの総社」は、3、4年が個人で持っていますけど、これは学校へ高学年分ぐらいはあるんですかね？

北川学校教育課長 学校に何冊かという。規模によって変えています。

下山委員 授業によって1クラスが全員持てるくらいはあるんですかね？

北川学校教育課長 一番多い学校で40冊です。

下山委員 1クラス分。

山中教育長 だいたい1クラス分ですね。

米谷委員 学校の図書館に置いてあるんですかね？

北川学校教育課長 そうですね。

河原文化課長 裏表紙の雪舟だけでも著作権が。販売となると、また使用料がすごくかかってくる。普通に教育委員会とかで1回使いたいといったら、せいぜいたぶん6000円ぐらいじゃないかと。無償で皆さんに提供しますという風にしたら。ちょっと料金表を向こうが示さないんですけど、販売で使うとかいうことになる、また違った価格を向こうが、大阪

の藤田美術館という所なんですけど、そこから示されます。それから、天橋立図が載っているとと思うんですけど、それも京都が持っていますけど、それも販売となるとまた違った価格に。著作権って要は金で解決ということになるんですけど、それもたぶん、すごい金額かどうかは分かりませんが、それなりの金額になると思います。

山中教育長 教科書にも載ってるでしょ？それは著作権、全部金を払ってるのかね？

河原文化課長 全部クリアしていると思います。ですから、教科書なんか下にクレジットが入っていると思うんですけど、東博とか京博とか。それは全部クリアしているはずですよ。

三宅委員 非常に分かりやすくていいなと思いましたけど。

山中教育長 売らずに配布するのかな。

三宅委員 寄付って感じだったらいいんですかね？

米谷委員 これを売らずに何かにつければ。

山中教育長 実費だけでも駄目なのかね？売るんじゃないに。

米谷委員 何かにこれが付いてくれば。これはオマケじゃないけど。

山中教育長 無償配布はいいわけ？

河原文化課長 無償配布が一番安いと思います。著作権面の手続きをする中で支払う経費というのは。

山中教育長 でも、これは無償でやるということで許可をとってるんでしょ？

河原文化課長 はい、たぶん。

山中教育長 だったらそれでいいわけだ。それは確認したのかな？

河原文化課長 著作権確認しているとは思いますが。画像データは来ませんので、普通。許可を取らないと。

山中教育長 勝手に使っているかもしれないよ。それは。ちょっと確認した方がいいよ。

服部教育次長 美術品みたいなやつは資料は？

河原文化課長 取らないといけないのが本筋です。持っている方に。

柚木生涯学習課長 絵なんかは、県立博物館提供とかいうのは書いていますね。

服部教育次長 委員長、ちょっと補足で何点かいろいろご質問なりいただきましたので、さっきの図書館の開館時間のお話がありました。たしかに18時までというのは早いなというのがありますが、実際これを延長とか拡大とか、あるいは、今月曜日休館でということで、祝日と他の曜日も開けられないかなという声もたまにいただきますし、結局、スタッフの配置、人件費の部分での相談になってくるんですけども、一般的に行政サービスを拡大する時には、例えば市民課の窓口とかですと、曜日を決めて、例えば8時まで開けますよということがあったりもします。それで様子を見ながら、どういったサービスをやっているかなという風に考えるわけですので、図書館、現場と相談になるんですけども、例えば18時閉館ですけども、どこか特定の曜日だけでも少し延ばしてみても状況を見てみるとか、という辺りからでないと、なかなか一遍には難しいのかなということは思っております。

それから、学校のサポーターとか地域支援本部の関係で、せっかくご意思があって登録いただいているのに活躍の場がないというのがあるのかなど。学校のそれぞれの状況によって変わってきますので、たくさん協力いただいている学校もあれば、特定の方の出番がなかなか声がかからないということもあるかと思えますけど、そういったご意思をせっかくお示しいただいているということであれば、コーディネーターの方が入って差配をしていただくような形になっているのかなと思うんですけども、もう少しせっかくの意向を生かせるような格好で協力いただければなという風に、ちょっと話を聞いていて思いましたので、やり方を。

柚木生涯学習課長 そうです。ですから、その方が何を望んでいるかというのがありますがけども、一つだけじゃなくて、例えば、さっき言った竹とんぼと見守り隊とか、そういった複数で、受付の時に見れば分かりますので、そういった方でちょっとやっていたらいいかなと思います。一つのことだけ、例えば、得意な分野がちょっと限られて、剪定とか言われたら子供は関係ないので。

山中教育長 実態を調べないといけない。稼働率が悪いんだから。どういう人達が稼働率が悪いのかというのを調べて、で、もし他の学校でいるんだしたら、そっちに紹介してもいいしね。

服部教育次長 まあ、大きな意味で言えば、ご高齢の方の登録がたぶん多いと思うんですけど、活躍していただく場を提供することってというのは非常に大事なことだと思いますので、学校側だけではなくて、全体的にも地域の方と関わりを持てる機会でもあるので、もう少し活用できればなというのは思っております。

山中教育長 せっかく言っていたいただいているんだから。

下山委員 今の、他所の学校へというのはいいですね。学校同士がそういう名簿は交換し合っていますよね？

柚木生涯学習課長 はい、やっています。

山中教育長 どういう人達が来られてないのかというのを学校も把握した方がいいね。学校は名簿を持っているんでしょ？

柚木生涯学習課長 あります。

林委員長 学校でコーディネーターの方が一生懸命されてですね、こういう数字になっているのかなということを思いますので、徐々にですね、スクールサポーターから移行してですね、自立した取り組みができるようにしてくれたら、それでいいんじゃないかなということを思います。いろいろとですね、気づいたことを委員の方から言いましたけれども、全体的にだいたいAが9割方ぐらいでしょうかね。ですから、かなり本当に、最後の評価のコメントを寄せてくれている先生も、そういったところをかなり評価してくれております。ですから、皆さんの努力はですね、こういった評価表として出ているなあという風な感じがいたします。これだけやろうと思ったら大変なわけですね。ですから、本当にありがとうございましたとお礼を申し上げて、この項は終わりたいと思います。お疲れ様でした。

林委員長 お諮りいたします。

議案第32号については、原案のとおり可決してよろしいか。

(異議なし)

林委員長 ご異議がないようですので、議案第32号については原案のとおり可決しました。

林委員長 これ、どこの予算で作ったんですかね？

岩佐庶務課長補佐 学校教育課予算と、文化課からも予算をいただいて、作ったと思います。

北川学校教育課長 メンバー的にはやっぱり各学校の。

林委員長 代表者になっていますよね？

山中教育長 2年前に作ったかな？

北川学校教育課長 社会科担当がそれぞれ分担で情報収集して持ってきたという。これ改めて見ると、今までの版をそのままとったというよりは、複写にしたりだとか、その先代が作られたやつをそのまま応用しているところはあるかと思います。ですので、それをいちいち全て許可をいただいているかどうかという確認は、ちょっと24、25年度の方が作られているので、今すぐはとれません。

林委員長 次に、教育長の報告をお願いします。

山中教育長 【教育長報告】

議会報告は、後で次長の方からしていただきますので、それ以外について報告します。

北小学校が、ひいご池の保全で岡山環境大賞をいただきました。19日に学校に行って、子供達の話聞いて激励をしてきました。5年生にも引き継いでできるだけこれを続けて、欲しい。たまたま、南校長がこれを始めるきっかけの時にいらっしゃったので、絶妙のタイミングでした。

もう一つは、発達障がいの子供達の対応をする先生方の加配が、来年度の国会に提出されます。全国で868名増えるということなんですけども、これが通った時に、岡山県にどれぐらい加配が入ってくるのか、よく県と連携してやらないといけないと思っております。

それからこの前、小・中学校の体力テストの結果が公表されましたけども、これは、小学校はちょっと真ん中くらい。中位。中学校はですね、上位。特に女性はかなりレベルが高い。

米谷委員 いいことですね。

山中教育長 男性より女性の方が、女性上位という感じでした。以上です。

林委員長 何か報告についてお尋ね等ございますか？

林委員長 発達障がい者の教員868人。だいたい50で割って十何名ですね。十何名を県に配置して、そうすると、1人来るかなという感じ？

山中教育長 来年はきらりをやりますから、2人要望しているんです。1人は確実なんですけども、もう1人分はちょっと欲しいなど、その分。タイミングが良かった。これは、全国市長会がアピールに行行って要望した。元々は、総社の片岡市長が発案なんですよね。最初に、県の市長会で話をして、全国市長会へ持って行って、そこで通って、全国市長会の会長と2

人で文科省に行って、その前にだいぶ、片岡市長は地ならしをしているんですよ。ですから、こんなに早く通るとはとても思わなかった。片岡市長の功績大ですね。驚きました。こんなに早く行くとは思わなかったですから。法案が通るかどうかわかりませんが、でも出るということとはすごいことですから。

林委員長 これまでも、本市では市費でですね、教員を配置したり、かなり手厚くやっておりますから、そういったバックボーンもあって説得力があったのかなと思いますね。

林委員長 次に「報告事項等」に移りますが、「11月定例会市議会の報告について」事務局から説明をお願いします。

服部教育次長 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の説明に対するご意見、ご質問等はありませんか。

【質疑なし】

林委員長 次に「第2次総社市教育振興計画基本計画（案）について」事務局から説明をお願いします。

葛原庶務課長 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の説明に対するご意見、ご質問等はありませんか。

【質疑・答弁】

林委員長 ちょっと用語が。6ページのファシリティマネジメントってどういう意味？

山中教育長 設備が古いのから新しいのまでありますよね。あれをどのようにして有効に使うか。スクラップアンドビルドだけじゃなしに。市役所というか、地方公共団体の場合は、ハードを作っても、それがバランスシートはありませんので、どのように有効に使われているかというのはなかなか難しいということで、国がバランスシートを作って、資産を有効に使えということですね。

葛原庶務課長 総合計画の中で、ちょっと用語の説明の中では、効率的な活動のために行う建築物の整備、人員組織等についての総合的な管理となっています。

山中教育長 スクラップアンドビルトがちゃんとできているかどうか。投資した物が有効に使えているかどうかのマネジメントですよ。

林委員長 若干、まだ考え中なので、私の方からですね、さっきの雪舟とかそういった学校支援のボランティアとかそういったところの関係で、生涯学ぶというところがですね、たぶん生涯学習の理念としては、生涯学んでいくと。で、学んだことが生かされるというか、それを活用できるというか、そういう場の整備というのもですね、たぶんセットで考えていくということだろうと思うんですけどね。そうした意味で、学ぶ、学ぶだけだと太ってしまうので、アウトプットとかですね、どこかへ出していくという場も何か提供すれば、少しバランスもとれるのかなという感じを、ちょっと説明を聞いていて、感想なんですけども、そういったことを思いました。

下山委員 すみません、今さっきのカタカナの言葉と一緒に、保育コンシェルジュの設置と

いうことで、ホテルなんかでもコンシェルジュなんですけど、こういう言葉でぼっと出すと若い人達は分かりやすいのかどうか分からないけど、普通に分かりやすい言葉を使った方がいいかなと思ったのが今一点と。それから、策定経過のところ、1月のそうじゃ総合教育会議は、この原案のその五十何ページかの原案のこれが検討委員会の拡大版で、それから2月のそうじゃ総合教育会議は、原案決定を読みあう会という感じですかね？2回あるのは。

葛原庶務課長 去年の今頃でしたかね、総社教育大綱の時も、総社総合教育会議でお諮りをしてという形で決めたと思うんですが、この教育振興基本計画も同じような形で、50ページぐらいあるんですが、それを話をさせていただくという形。一応それを踏まえて、パブリックコメントをとって、意見を踏まえて修正をして、もう一度諮るという形になろうかと思えます。

下山委員 原案を決定した後でもう一回集まるんですね？これ。

葛原庶務課長 はい。

山中教育長 1月にやってしまったらまずいんじゃないの？そこで何か決まってしまうたら動けないでしょ？だからその前に情報を開示して、市長部局も含めてすり合わせをしてからやらないと、総合政策部とよく調整をして、それと、当然、教育委員さんとも情報を開示してやらないと、これだと教育委員会で検討する時間がない。だから、一応作ったら、今資料があるんだから見ていただいて、いろいろコメントをいただいてから次へ行かないと、いきなり総合教育会議はちょっといかなものかと思えます。

葛原庶務課長 申し訳ありません。現在できているものをお配りして、ちょっと見ていただくようにいたしますので、よろしくをお願いします。

林委員長 じゃあ、また送っていただける？

葛原庶務課長 はい。

山中教育長 それから庁内での調整、市長にもある程度アウトラインを事前説明しておかないと、総合教育会議でNOと言われたら動けなくなる。

米谷委員 あと一ついいですか？前にも一度言ったと思うんですけど、先ほどの委員長のお話にも関連するところなんですけど、教育大綱が3つあって、一番トップに「総社を愛する子供」というのがあって、全て子供という言葉が付くんですけど、前言ったのは、教育は将来の総社市というものを再生産していくシステムなので、その中で子供とここに銘打っていることが、総社の教育ということと関わってくるという風な捉え方がいいんじゃないかということで、4ページのところに「子供の教育に皆さん地域の方が関わることで」というような表現のされ方をしているんですけど、そうじゃなくて、先ほど委員長が言われたアウトプットの部分で、もう一回それがフィードバックされて、地域作りに、総社というまちを子供中心に次の世代へ繋いでいくというような、そういう展望の中で書いた方が。突然、例えば、6、7ページで真ん中に総社教育大綱、総社を愛する子供、心優しい子供、礼儀正しい子供と間にすぽっと入ると、後の右側の部分との繋ぎというのが非常に見辛くなるんじゃないか

などという、ちょっと印象を受けたものですから。細かく言えば、それらがやった政策が反映されるんですよっていうことではあるとは思いますが。ですから、最初にそういうことを言っておけば、後、こういう政策が具体的にされる時に、読まれる方は非常に入り込みやすいんじゃないのかなと、そういう印象をちょっと受けました。

山中教育長 ちょっと唐突ですよ。ここが。今仰ったようなことを入れたらちょうどいいかもしれないですね。そうしたら分かりやすい。

葛原庶務課長 はい。

林委員長 ちょっと気のついたことしか言えないんですけども、4ページのですね、目指す子供像というのは、総社教育大綱の「総社を愛す子供」ということで、総社の良さを理解して、地域の人々とふれあいながらという風なことがありますけども、だいたいそういう場合は、地域の「ひと」だけではなくて、「もの」とか「こと」とかいう風なですね、遺産であるとか、または文化であるとか、そういう風なものともふれあいながらという風な形でというのが多いと思うので。ですから、人々だけではなくて、「ひと、もの、こと」と、なんかそういったもの、なんか深まりがあるものになっていくのではないかと思うんですけど。

山中教育長 そうですね。

林委員長 それでは、また詳しいのが送って来られるようですので、読んでですね、もしも気のついたところがあったら、直接葛原課長の所にお知らせするという形をとらせてもらいましょうかね？

葛原庶務課長 はい、よろしくお願いします。

林委員長 他に報告事項等はありませんか。

柚木生涯学習課長 【婦人大会の案内をした。】

林委員長 他にどうでしょうか？よろしいですかね？

第九の方はうまってきているんですか？

河原文化課長 ぼちぼちです。だいたい新聞とかで取り上げて下さっているんで、今日も大きく出ていましたけど、毎日新聞とか、ケーブルテレビでも近く放送になると思います。で、去年は当日券がかなり出ました。もう今、300はもう切っていると思うんですが、残席数が。600はもう超えているので、使わない席もあって全部使わない関係もありますので、そこそこのところまでいくかなと見込んでおります。ぜひ来てください。

林委員長 僕も1枚だけ買いました。何枚も買えないけど。

下山委員 当日も大丈夫なんですか？

河原文化課長 大丈夫とは思いますが、指定席ですので、去年はいろいろあったんですけど、今年は指定席ですので。よろしくお願いいたします。

下山委員 すみません、今朝の新聞で思い出したんですけど、秦が学級閉鎖になっていますけど、他の学校の様子とか、もう終業式が近いので、分かっている範囲で教えていただけたらなど。

北川学校教育課長 急性腸炎の方で、発祥したのが西小の子で、3学級、4学級くらい先週、先々週くらいからぼつぼつと出だして、スポーツ少年団等で、たぶん秦の子供達とふれあって、今週秦に行ったのかなという話もしたんですが。秦が今1クラスですか、という状況であります。

林委員長 それでは、次回の教育委員会の日程についてであります。既にご承知のとおり、1月24日午後3時から開催いたしますので、ご参集願います。

林委員長 この際、来年2月の教育委員会の日程を調整いたしたいと思いますが、事務局から提案願います。

(2月の教育委員会について日程調整)

林委員長 では、2月の教育委員会は、2月20日午前9時30分から開催いたします。

では、これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。

【閉 会】

閉会 午後5時8分